



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成29年7月28日
上場取引所 東

上場会社名 八千代工業株式会社
 コード番号 7298 URL <http://www.yachiyo-ind.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 事業管理本部長 (氏名) 北村 哲也 (TEL) 04-2955-1211
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	40,932	21.7	3,156	100.6	3,090	107.2	2,030	96.6	1,477	119.6	2,011	—
29年3月期第1四半期	33,640	△10.3	1,574	△43.9	1,491	△42.4	1,032	△51.2	672	△59.2	△3,849	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	61.49	—
29年3月期第1四半期	28.00	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	124,335	67,407	56,603	45.5
29年3月期	130,943	66,622	55,475	42.4

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	80,000	23.2	4,500	127.0	4,500	142.3	2,500	317.3	1,700	—	70.79
通期	158,000	7.2	10,800	7.9	10,800	6.3	6,400	△7.0	4,500	△5.1	187.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
新規 一社（社名） — 、除外 一社（社名） —

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	24,042,700株	29年3月期	24,042,700株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	29,248株	29年3月期	29,248株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	24,013,452株	29年3月期1Q	24,013,452株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記業績予想は、平成29年3月期決算短信（平成29年4月28日）における業績予想から変更しております。詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
2. 業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の業績予想とは大きく異なる結果となり得ますことをご承知おきください。

なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	4
3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経済状況は、国内においては、個人消費や設備投資は持ち直しの動きがみられ、緩やかな回復基調が続いております。一方、海外においては、米国の景気は、金融市場の変動影響等が懸念されるものの、雇用環境の改善に伴う個人消費の増加を中心として回復が続いております。アジア諸国の景気は、中国では不動産価格や過剰債務問題を含む金融市場の動向等が懸念されるものの各種政策効果もあり、持ち直しの動きがみられております。インドでは内需を中心に緩やかに回復しており、その他のアジア諸国においても、景気の持ち直しの動きがみられております。欧州主要国の景気は、地政学的リスク、政策に関する不確実性の影響等が懸念されるものの、緩やかに回復しております。

このような状況のもと、当社グループは、2020年Vision「卓越した技術と特長ある製品で真の世界ワイドプレイヤーになる」の達成に向け、2017年4月からの中期3カ年（17-19中期）で「グローバルでトップの技術・製品の競争力を実現する」ことを目指し事業を推進しております。「ヤチヨ企業理念」および「安定した品質と納入」をベースに、「各事業の自主自立」「世界一もしくは世界初の技術・製品の実現」「働き方改革による現場力の飛躍的向上」に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の売上収益は、自動車部品において受注が増加したこと、また自動車組立において前期は熊本地震による減産影響がありましたがその受注が回復したことなどにより、409億3千2百万円と前年同期に比べ72億9千2百万円、21.7%の増収となりました。利益につきましては、自動車部品及び自動車組立における受注の増加などにより、営業利益は、31億5千6百万円と前年同期に比べ15億8千2百万円、100.6%の増益となりました。税引前四半期利益は、30億9千万円と前年同期に比べ15億9千9百万円、107.2%の増益、四半期利益は、20億3千万円と前年同期に比べ9億9千8百万円、96.6%の増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

日本においては、自動車部品の受注が増加したこと、また自動車組立において前期は熊本地震による減産影響がありましたがその受注が回復したことなどにより、売上収益は、88億8百万円と前年同期に比べ19億4千万円、28.3%の増収となりました。税引前四半期損失は、受注の増加などにより、6千7百万円と前年同期に比べ11億3千4百万円の改善となりました。

(米州)

米州においては、連結子会社であるヤチヨ マニュファクチュアリング オブ アメリカ エル エル シー (米国) における受注の増加などにより、売上収益は、105億4千8百万円と前年同期に比べ7億7千6百万円、7.9%の増収となりました。税引前四半期利益は、受注の増加はあったものの、機種構成変化などの影響により、6億8千6百万円と前年同期に比べ3千3百万円、4.6%の減益となりました。

(中国)

中国においては、連結子会社である八千代工業(中山)有限公司(中国)及び八千代工業(武漢)有限公司(中国)における受注の増加により、売上収益は、72億4千3百万円と前年同期に比べ20億5百万円、38.3%の増収となりました。税引前四半期利益は、受注の増加により、9億1千3百万円と前年同期に比べ1億8千6百万円、25.6%の増益となりました。

(アジア)

アジアにおいては、連結子会社であるゴウシ タンロン オートパーツ カンパニー リミテッド(ベトナム)及びサイアム ゴウシ マニュファクチュアリング カンパニー リミテッド(タイ)における受注の増加などにより、売上収益は、143億3千2百万円と前年同期に比べ25億7千1百万円、21.9%の増収となりました。税引前四半期利益は、受注の増加などにより、16億7千5百万円と前年同期に比べ3億6千9百万円、28.3%の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、1,243億3千5百万円と前年度に比べ66億9百万円の減少となりました。減少した要因は、営業債権及びその他の債権や現金及び現金同等物が減少したことなどによるものであります。

負債合計は、569億2千8百万円と前年度に比べ73億9千4百万円の減少となりました。減少した要因は、借入金や営業債務及びその他の債務が減少したことなどによるものであります。

資本合計は、674億7百万円と前年度に比べ7億8千5百万円の増加となりました。増加した要因は、利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税引前四半期利益30億9千万円、減価償却費及び償却費18億1千万円などはあったものの、有形固定資産の取得による支出21億円、短期借入金の純減額35億1百万円及び長期借入金の返済による支出10億4千2百万円などにより、当第1四半期連結会計期間末における資金残高は147億6千1百万円となり、前年度に比べ19億3千2百万円減少しました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの前年同期に対する増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、税引前四半期利益30億9千万円、減価償却費及び償却費18億1千万円などにより、前年同期に比べ25億9千1百万円増加し、53億8千9百万円（前年同期は27億9千9百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、有形固定資産の取得による支出21億円などはあったものの、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得28億3百万円があった前年同期に比べ16億2千万円減少し、16億1千2百万円（前年同期は32億3千2百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、短期借入金の純減額35億1百万円、長期借入金の返済による支出10億4千2百万円、配当金の支払額12億2千7百万円などにより、前年同期に比べ53億1千5百万円増加し、57億9千1百万円（前年同期は4億7千6百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年3月期の売上収益につきましては、二輪部品や自動車組立分野における受注の増加などにより前回予想を上回る見通しとなりました。また、利益につきましても、増収に伴う利益の増加や、原価改善効果などにより営業利益、税引前利益、当期利益、親会社の所有者に帰属する当期利益ともに前回予想を上回る見通しとなりました。

以上のことから、連結通期業績予想を以下のとおりとしております。

<連結業績の見通し>

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
今回修正予想	158,000	10,800	10,800	6,400	4,500
前期実績(2017年3月期)	147,360	10,011	10,160	6,884	4,743
増減率(%)	7.2	7.9	6.3	△7.0	△5.1

なお、詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
該当事項はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	16,693	14,761
営業債権及びその他の債権	38,376	36,094
その他の金融資産	1,536	704
棚卸資産	11,937	10,912
その他の流動資産	1,175	1,221
流動資産合計	69,717	63,693
非流動資産		
有形固定資産	49,696	49,848
無形資産及びのれん	6,321	6,282
その他の金融資産	1,557	1,504
繰延税金資産	1,639	1,315
退職給付に係る資産	1,494	1,270
その他の非流動資産	519	422
非流動資産合計	61,226	60,642
資産合計	130,943	124,335

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	25,754	23,440
借入金	14,458	10,815
その他の金融負債	127	109
未払法人所得税	1,427	1,407
その他の流動負債	5,202	5,208
流動負債合計	46,968	40,978
非流動負債		
借入金	6,146	5,213
その他の金融負債	160	151
退職給付に係る負債	5,467	5,404
繰延税金負債	5,129	4,740
その他の非流動負債	451	441
非流動負債合計	17,354	15,950
負債合計	64,322	56,928
資本		
資本金	3,686	3,686
資本剰余金	3,488	3,488
利益剰余金	46,011	47,151
自己株式	△25	△25
その他の資本の構成要素	2,316	2,303
親会社の所有者に帰属する持分合計	55,475	56,603
非支配持分	11,147	10,804
資本合計	66,622	67,407
負債及び資本合計	130,943	124,335

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
売上収益	33,640	40,932
売上原価	△28,449	△34,020
売上総利益	5,192	6,912
販売費及び一般管理費	△2,568	△2,818
研究開発費	△985	△985
その他の収益	102	92
その他の費用	△166	△45
営業利益	1,574	3,156
金融収益	153	80
金融費用	△236	△146
税引前四半期利益	1,491	3,090
法人所得税費用	△459	△1,060
四半期利益	1,032	2,030
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	672	1,477
非支配持分	360	553
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	28.00	61.49

(要約四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
四半期利益	1,032	2,030
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の純変動	△19	△202
純損益に振り替えられることのない項目 合計	△19	△202
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△4,863	183
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△4,863	183
その他の包括利益合計	△4,882	△19
四半期包括利益	△3,849	2,011
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△3,332	1,464
非支配持分	△517	547

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
2016年4月1日残高	3,686	3,473	41,530	△25
四半期包括利益				
四半期利益			672	
その他の包括利益				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動				
在外営業活動体の換算差額				
四半期包括利益合計	—	—	672	—
所有者との取引等				
剰余金の配当			△336	
連結範囲の変動				
所有者との取引等合計	—	—	△336	—
2016年6月30日残高	3,686	3,473	41,866	△25
2017年4月1日残高	3,686	3,488	46,011	△25
四半期包括利益				
四半期利益			1,477	
その他の包括利益				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動				
在外営業活動体の換算差額				
四半期包括利益合計	—	—	1,477	—
所有者との取引等				
剰余金の配当			△336	
連結範囲の変動				
所有者との取引等合計	—	—	△336	—
2017年6月30日残高	3,686	3,488	47,151	△25

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計		
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	在外営業活動体の換算差額	合計			
2016年4月1日残高	438	2,549	2,988	51,651	10,311	61,962
四半期包括利益						
四半期利益				672	360	1,032
その他の包括利益						
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	△19		△19	△19		△19
在外営業活動体の換算差額		△3,986	△3,986	△3,986	△877	△4,863
四半期包括利益合計	△19	△3,986	△4,005	△3,332	△517	△3,849
所有者との取引等						
剰余金の配当				△336	△971	△1,307
連結範囲の変動				—	103	103
所有者との取引等合計	—	—	—	△336	△868	△1,204
2016年6月30日残高	420	△1,436	△1,017	47,982	8,926	56,908
2017年4月1日残高	600	1,716	2,316	55,475	11,147	66,622
四半期包括利益						
四半期利益				1,477	553	2,030
その他の包括利益						
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	△202		△202	△202		△202
在外営業活動体の換算差額		189	189	189	△6	183
四半期包括利益合計	△202	189	△13	1,464	547	2,011
所有者との取引等						
剰余金の配当				△336	△890	△1,227
連結範囲の変動				—		—
所有者との取引等合計	—	—	—	△336	△890	△1,227
2017年6月30日残高	398	1,905	2,303	56,603	10,804	67,407

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,491	3,090
減価償却費及び償却費	1,888	1,810
金融収益	△153	△80
金融費用	236	146
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	2,356	2,019
棚卸資産の増減額(△は増加)	△774	1,026
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△2,097	△1,921
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	34	△66
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	185	224
その他(純額)	61	40
小計	3,227	6,288
配当金の受取額	8	7
利息の受取額	128	68
利息の支払額	△42	△40
法人所得税の支払額又は還付額	△522	△935
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,799	5,389
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,047	△2,100
有形固定資産の売却による収入	28	51
無形資産の取得による支出	△312	△255
定期預金の預入又は払戻(純額)	669	701
事業譲渡による収入	229	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,803	—
その他(純額)	4	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,232	△1,612
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,158	△3,501
長期借入による収入	200	—
長期借入金の返済による支出	△1,515	△1,042
親会社の所有者への配当金の支払額	△336	△336
非支配持分への配当金の支払額	△971	△890
その他(純額)	△12	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△476	△5,791
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△909	△2,014
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,293	82
現金及び現金同等物の期首残高	15,472	16,693
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,270	14,761

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	連結
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	6,868	9,773	5,238	11,761	—	33,640	—	33,640
セグメント間の内部売上収益	1,933	157	169	145	35	2,438	△2,438	—
合計	8,801	9,929	5,407	11,906	35	36,078	△2,438	33,640
セグメント利益 (税引前四半期利益又は損失)	△1,200	719	726	1,306	1	1,552	△61	1,491

(注) 1 「調整額」の内容は、次のとおりであります。

(1) 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。

(2) セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。

2 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

3 株式会社合志テックを日本セグメント、ゴウシ フィリピン インコーポレーテッド及びラグナ アソシエリアルティ インコーポレーテッドをアジアセグメントに含めております。

当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	連結
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	8,808	10,548	7,243	14,332	—	40,932	—	40,932
セグメント間の内部売上収益	2,419	34	434	287	38	3,212	△3,212	—
合計	11,227	10,582	7,677	14,619	38	44,144	△3,212	40,932
セグメント利益 (税引前四半期利益又は損失)	△67	686	913	1,675	2	3,209	△119	3,090

(注) 1 「調整額」の内容は、次のとおりであります。

(1) 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。

(2) セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。

2 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。